第２次熊谷市総合振興計画後期基本計画（案）に対する意見及び市の考え方

１　意見募集期間

令和４年１２月２０日（火）～令和５年１月１９日（木）

２　意見の提出者数及び意見等件数

提出者数　　７名

意見等件数　３６件

３　意見の概要と市の考え方について

該当箇所	意見の概要	市の考え方
基本構想 P2	市民、行政それぞれに役割があると思うが、市民も行政の方も熊谷に愛着をもち、共に魅力あるまちづくりを進められるとよい。	貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本構想 P2	①基本構想の見直し理由は新市長誕生と理解してよいのか伺います。 ②現在の基本構想のどこを、どのような理由で、どのように見直されたのか一覧の表として示すお考えはありますか。	①昨年度に策定した都市計画マスタープランや立地適正化計画の反映とともに、市長の基本政策、社会情勢変化や、行政課題解決のための新たな取組を後期基本計画に加えて、持続可能な都市力の増強を図るものです。 ②時代の変化も含め全体的に見直しを行っており、一覧の表で示すことは困難と考えているため、予定しておりません。
基本構想 P4	①将来人口について、熊谷市の独自推計値(目標年度人口 187,500 人程度)を前提で説明されており、独自推計の方法および公表数値を用いない理由について。 ②「５年前の基本構想での人口推計値より人口の減り具合が緩くなった（思ったほど減少しなかった)」、その原因は、転入促進策、出産子育て支援策、雇用促進、教育環境の充実、シティプロモーションと列記され、	①今回の人口推計に当たっては、人口推計において一般に広く使用されているコーホート変化率法を採用しております。国立社会保障・人口問題研究所などで公表されている５年に一度の推計値は公表までに時間がかかるため、より最新のデータをもとに推計を行うことで、直近の状況を反映した計画としております。 ②人口推計は確度の高い推計であ

	各施策が”功を奏している結果”等と説明されている根拠を明記して下さい。	り、推計時の状況が継続すれば概ね推計どおりの状況となると想定されています。人口減に対する各種施策を実施したことで推計時の推計よりも人口減少の度合いを抑制することができたと考えております。
基本構想 P5	少子高齢化・人口減少を見据えた様々な計画、DX の推進・デジタル技術の活用など、市民生活は便利で快適になることが期待されるが、便利になる一方で人との繋がりが希薄になっていくことが懸念される。	DX の推進やデジタル技術の活用などは、目的ではなく、市民生活の向上を図るための手段と考えております。 今後も市民の方と協力しながら住みやすいまちづくりを進めていきたいと考えております。 貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本構想 P5	①“中核的・都市的な土地利用”とはどのような土地利用であるのか具体例を示して説明して下さい。 ②「多核連携型コンパクト&ネットワークシティ・知的対流が起こる都市・エリアを５つに分け地域の特色を生かした整備を目指す」とあり、これまでの相違点を記載頂きたい。	①わかりやすい表現に修正します（籠原駅周辺や合併前の旧町の中心部等で都市的な土地利用がされた「地域拠点」を有しています。）。 ②土地利用につきましては、主に産業誘導ゾーンの拡大をしました。
基本構想 P6	【ウォーカブル】は【楽しく歩きやすい、ウォーキングしやすい】などと、分かりやすくした方がよいのではないか。	御意見を踏まえ、注釈を追加します。
基本構想 P6～7	①中央エリア “周辺市町への郊外型大型店舗の立地”を市の中心市街地の商業機能の衰退理由として挙げられる根拠と振興策の提示が必要ではないか。 ②東部エリア ソシオ流通センター駅周辺の区域の	基本構想は、今後のイメージが膨らむよう、あえて抽象的な表現にとどめており、具体的な整備イメージや施策についての記載は考えておりません。 「低未利用地」については、御意見を踏まえ注釈を追記します。

	整備イメージを追記してほしい。 また、“用途地域に即した産業用地を創出し、産業拠点整備や防災機能の充実を進める”ための具体的な取組み（施策）について示してほしい。 県営熊谷スポーツ文化公園の周辺区域の周辺区域について明示してほしい。周辺区域には“市民の健康増進と文化的活動拠点としての機能向上を促進する”とあるが抽象的であり、より具体的な例示を行ってほしい。 ③西部エリア この区域では、“民間による土地区画整理事業を促進し「スマートシティ」及び「ゼロカーボンシティ」を進める”ということですが、“低未利用地”とはどのような土地なのか。他のエリアにも同様の低未利用地は存在するのか。するとすれば、他のエリアでも積極的に推進できるような計画にしていくほうが得策ではないか。 ④南部・北部エリア 南部および北部エリアには「生涯学習・スポーツ振興・農業振興などを目的とした生活文化施設等と連携した土地利用」と表現されているが、“生活文化施設と連携した土地利用”とはどのような施策をイメージすればよいのか例示してください。	低未利用地は市全体の問題ですが、籠原地区において多く見られることから、特に記載しています。
基本構想 P13 政策２	市内の医療機関との連携により、感染症対策や救急対応等の医療体制の充実を図られるとされておりますが、地域医療体制の充実、向上について、これまで以上に、熊谷市民のニーズを汲み取り熊谷市としての方針を明確にして頂きたい。	市民生活に重要な課題と認識しており、今後重点的に取り組んでいく案件と考えています。

基本構想 P14 政策５	①政策５「人が集い活力ある産業が育つまち」において熊谷市の意向として、これからの街や地域産業がどうあるべきか、既存産業や事業の磨き込み、及び競争力向上に向けた具体的な支援など、熊谷市の産業育成として目指される具体的な方針を明確にして頂きたい。 ②政策７「地域に根差した教育・文化のまち」のなかで、「教育施設の充実」と明記されておりますが、民間教育施設の誘致、特に中高一貫校の誘致の検討を提案します。	①地域の活力維持のため、各産業を通じて稼ぐ産業の創出・育成も含めて、今後の事務の参考とさせていただきます。 ②貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本計画 P2	①８つのプロジェクトで構成されるリーディング･プロジェクトについて、各施策の関連性や期待される効果について説明をお願いしたい。 ②総合振興計画では、スマートシティ推進やデジタル地域通貨の導入など行政 DX に注力されていますが、各リーディング・プロジェクトで横断的に DX 推進の取り組みが盛り込まれるよう要望します。	①リーディング・プロジェクトは、計画期間内に取り組む８つの政策分野を横断する施策、重要な施策をまとめたものです。 ②自治体 DX の推進により社会情勢やニーズの変化に速やかに対応した効果的な行政施策を実施することを目指します。
基本計画 P4	公共施設の充実とあるが、【公共施設の再編】ではないか。	公共施設を集約し機能充実させることを考えております。
基本計画 P4	古くなった施設の更新は必要ですが、強引に一つの給食センターへ統合することが目的になってないか？市民が求めていることなのか？疑問です。	熊谷市個別施設計画等に基づき、公共施設の統廃合や再配置等を効果的に推進していきますが、給食センターの整備は、給食センターの整備基本計画で詳細に説明していきます。
基本計画 P4　他	リーディング・プロジェクトでは、北部地域振興交流拠点の整備が盛り込まれており。地域の産業拠点施設を核とした活性化の推進が計画されております。人の交流から新たな産業や活動の	県や関係機関と連携しながら、より効果的な施設整備を進めていきます。

	創出、及び地域振興の拠点機能や産業支援機能の強化を図られるとのことですが、産業拠点の整備に向け具体的にどのような課題があり、どのような議論がなされているのか、また、中心市街地の活性化に向け、国県市の行政機能の中心市街地集積によるシビックエリアの整備等を検討されてはいかがでしょうか。	
基本計画 P4～5　他	①・・促進する。・・推進する。と使い分けておりますが、どのような違いがあるのかわかりやすく説明してください。 ②熊谷駅南口エリアでは“再整備を進めていきます。”同じページの表では“熊谷市南口エリアの開発促進”及び“新市民体育館を含む荒川公園周辺の再整備”などと記載されています。地元住民、事業者等にとり「南口エリア」と「新市民体育館を含む荒川公園周辺」の区域を認識しておきたいと思います。」について、イメージ図等追記してください。	①市が主体となる場合は「推進」、他者が主体の場合は「促進」と整理しています。 ②新市民体育館周辺と駅南口周辺で区別していますが、今後策定される個別の計画において説明していきます。
基本計画 P5	①「地元農産物や加工品を PR する（仮称）道の駅「くまがや」の整備を進めます。」とあります。農業の振興は市の産業振興の根幹ではないかと考えます。もう少し積極的な表現としてほしい。 ②農産物のブランド化や６次産業化の推進についてこれまでの取組と何が異なるのか明記してほしい。 ③産業誘致ゾーン等への具体的な誘致方法を明記するべきではないか。	①農業の振興は市の産業振興の根幹と考えており、そのことを表現しています。 ②これまでの取組を継続しつつ、更なる推進を図ります。 ③総合振興計画では詳細な記述は予定しておりませんが、計画の中で具体化します。今後の事務の参考とさせていただきます。

基本計画 P7	文章の順番を以下のように並び替えた方が文章がつながると思います。 ■子どもから高齢者、障害者、ＬＧＢＴＱ等、全ての人々の活動に優しく、人々が交流できるまちを目指し、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて、ハード・ソフト両面での事業を展開するほか、 ●地域住民がお互いの多様性を理解しつつ、助け合い、支え合える社会の実現を目指します。 ■また、市民の健康寿命の延伸のため、地域の課題に応じた健康づくりを推進するための体制整備を行うとともに、 ●デジタル技術の活用や移動手段の確保等により、誰もが安心して快適に暮らせる環境を整備します。	御意見のとおり修正します。
基本計画 P9	犯罪の無い社会を実現することは大切です。しかし、街頭防犯カメラを増やし、監視社会にすることで、犯罪を防げるでしょうか？プライバシーが侵害され、息苦しい社会になるだけだと思います。	市民のプライバシー保護に配慮しつつ、地域の防犯を目的として、安心・安全な地域社会に寄与するため、「熊谷市防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン」を定めており、防犯カメラを設置運用する人には当該ガイドラインの遵守を求めています。
基本計画 P11	ラグビー以外の PR ももちろん見かけるが、ラグビーが多いと感じる。	本市はラグビータウンを標榜しており、今後もラグビーの PR は継続して行っていきますが、ラグビー以外のスポーツにも同様に目を向け、スポーツによるまちづくりを推進していきます。

基本計画 P12　他	めざそう値＝市の掲げる目標値であり、前期めざそう（令和５年３月）の数字を達成しているような指標、大方達成しそうな指標については、時代の変化に基づき新たな目標を掲げていく姿勢が必要だと思います。	前期めざそう値の数字を達成しているような指標でも、継続して実施する必要がある指標や、今後の社会情勢により、現状維持が困難となるような指標もあるため、現実に即しつつ実現に努力が必要な目標設定としております。また、後期基本計画の策定に当たり、新規の目標も追加しました。
基本計画 P21	「武力攻撃」という言葉を安易に使うべきではないと思います。5年以内に、武力攻撃を受けることを、熊谷市として予定し準備することになるからです。	国民保護法において、テロを含み「武力攻撃等」としているため、現行のままとします。
基本計画 P21	「準用河川新星川」の整備完了見込時期を示してほしい。	総合振興計画には個別の事業の整備完了見込時期を明記する予定はございませんが、新星川改修工事の全体の計画では、最下流部（上之地内の一級河川星川との接続部）から、最上流部（円光一丁目地内の県道太田熊谷線西側の市道 501461 号線との交差部）まで、延長 2,406 メートルが準用河川の指定区間となっており、このうち、最下流部から延長 1,800 メートルが現在の事業計画区間で、同区間について令和９年度の整備完了を目標としています。
基本計画 P23	「防災・危機管理体制」の分野でありながら、大地震の際の体制整備の記載がない。	詳細については個別計画である地域防災計画の主な取組で説明しています。
基本計画 P37	「施策の目標」の値が全て達成されたものとなっている 。	現状の値を維持することが重要と考える目標であるため記載しています。

基本計画 P49	「認知症」の方だけでなく、若年性認知症や脳卒中の後遺症で高次脳機能障害となった第２号被保険者の方が、利用が優先される介護保険サービスで支援を受け、さらに併用ができる障害福祉サービスなどにつなげ、総合的に支援をしていくことを記してください。	P49 は「３－２　高齢者が暮らしやすい環境をつくる」の施策を記載しており、こちらに御意見の内容を記載することは考えておりません。
基本計画 P52	「成年後も」を「成年後も介護などと」といった表現に直してください。	「成年後も途切れることがないように継続した支援」に御意見の趣旨は含んでおりますので現行のままとします。
基本計画 P64	必要な施設更新は必要です。焼却する時のエネルギーを有効活用し、発電して地域で利用するなど考えてもよいのでは？	貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本計画 P89	「熊谷市景観誘導地区」が現在２地区だが、３地区に増やす。	貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本計画 P93	単位施策１の中、主な取組の中に草刈りを入れる。	機能的で安全な道路を維持できるよう適切に管理していきます。
基本計画 P95	「熊谷駅から東武東上線森林公園駅を結ぶ軌道新線について調査･検討する」を加えてください。	平成 28 年６月議会での附帯決議の趣旨を尊重し、社会経済状況の変化を見据えながら検討したいと考えています。
基本計画 P96	主な取組に「移動困難者へのタクシー券配布」	主な取組の１点目の「運転免許証返納者への移動支援」も含め、今後検討していきます。
基本計画 P104	学齢期の子どもたちを、誰も取り残さない取組を進めることを盛り込むべきではないか。	単位施策１の主な取組において、「不登校や発達障害、日本語指導など多様なニーズに対応した教育の推進」を設けています。

基本計画 P107	基本方針の「アセットマネジメントとの整合性を図りつつ」とあるが「市民の意見を確認する」という内容も入れるべきだ。	アセットマネジメントは必要であれば適宜見直しを行うこととしており、その際にパブリックコメント等により広く市民の意見を募る予定です。
基本計画 P107～108	学校施設の統廃合や再配置、校外施設を利用した水泳授業、新熊谷学校給食センター整備など、子どもや親の意向を確認しながら、見直しも視野に進めてもらいたい。	貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本計画 P122	主な取組の中に ・戦後 80 周年の取組を行う ・平和の鐘の認知度を高める	貴重な御意見として、今後の事務の参考とさせていただきます。
基本計画 P140	単位施策 1 に分庁舎を解消・・・とあるが、削除する。	分庁舎の解消は課題と認識しており、DX の推進と合わせてデジタルデバイドの解消にも取り組み、市民の利便性を確保しながら、より効率的な行政運営を図っていきます。
総合振興計画全般	①各事業の完了、終了時期を明記し、進捗状況の計測を明確にできるようにして頂きたい。 ②市からの重要なお知らせ（パブリックコメント等）方法について検討してほしい。(文字で示す方法とともに映像＋音声等でより理解しやすくする方法など)	①各事業の進捗については、施策の目標により分析することとします。 ②時代の変化に対応して適切な方法による情報提供に努めます。